

教育研究活動の更なる活性化へ向けて

女性研究者養成システム改革推進本部長 富崎 松代

本学は、昨年度文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者養成システム改革加速」（本年度からは科学技術人材育成費補助金「女性研究者養成システム改革加速事業」として実施）に採択されました。採択課題名は『伝統と改革が創る次世代女性研究者養成拠点』です。女性人材育成機関としての本学の伝統を基盤とし、学長のリーダーシップの下で男女共同参画推進に係わる全学的な組織を再構築し、次の3つのシステムを推進し、次世代女性研究者養成拠点としての役割を果たすことを目的としています。

若手研究者養成システム
研究スキルアップシステム
若手研究者サポートシステム

若手研究者養成システムの実績としては、昨年度は理学系4名（准教授1名、助教3名）と工学系1名（助教）を、本年度は理学系1名（助教）を採用しました。また、平成24年度の採用計画に基づき、工学系1名（助教）の公募を行い、平成24年4月1日付け採用を決定しました。本事業の実施期間全体の女性教員比率の目標は平成26年度までに20%以上ですが、平成23年度の達成状況は理学系21.0%、工学系28.6%となっており、年度計画を上回っています。

女性教員比率の上昇だけでなく、優れた若手女性研究者の採用により、次世代を担う優秀な女性研究者層が厚くなり、大学全体としての教育研究活動の更なる活性化につながることを目指しています。このために、研究スキルアップシステムを推進し、女性研究者に対する様々な支援を充実させています。

若手研究者サポートシステムを推進するために、事業計画に基づいて採用された助教に対し3名～4名の教員からなるメンターチームを構成し指導助言にあたっています。本学の特徴は、メンターチーム評価制度にPDCAサイクルを活用することにより、関係分野だけでなく全学的な観点から女性研究者養成システム改革推進状況を把握し、女性研究者養成システム改革推進本部、そして各部局の男女共同参画推進委員会、女性研究者養成システム改革推進部会においてシステムの改善を検討することです。

各部局の評価委員会、全学組織の評価企画室を経由するPDCAサイクルに従って、平成22年度のメンターチームの評価が実施されました。各助教はその研究活動を着実に進めていること、指導助言が適切に行われていること等が確認され、またサポートシステムの改善も図られました。

今後も大学全体で目標の達成に向けて努力を続けていきたいと思っております。